



東広島で活躍中の地域活動団体を
のぞいてみよう！

ゆるゆるファーム 竹あかり



竹あかりの灯りで「癒しの時間」を届けたい

「日々の忙しさから少し離れ、やさしい竹あかりの灯りに癒されてほしい」

そんな想いから始まったのが「ゆるゆるファーム 竹あかり」の活動です。

代表の谷憲二さんが最初に竹あかりを作ったのは約10年前。現場で出会っためずらしい模様の竹「金明竹（キンメイチク）」をもったいないと思い、持ち帰って作品を作ったのが始まりでした。



まちづくり活動応援補助金を活用した
「竹あかりの夕べ」

ゆるゆるファームの活動は、令和5年に東広島市の「市民協働のまちづくり活動応援補助金」を活用して竹あかりの展示を行いました。

2023年11月に開催したイベント「竹あかりの夕べ」やその活動報告会で、多くの市民と出会い、竹あかりや活動を知ってもらうきっかけとなりました。

イベントの竹あかりで使用する竹は、東広島にある人の手入れがされていない荒れた竹林から竹を切りだして制作しています。

「竹あかりの夕べ」当日は、100～150個の竹あかりを西条中央公園にて点灯、展示しました。

「竹あかりを眺めながら、ただぼーっとする時間の大切さを知ってほしい。
なにもしない、なにも考えない、そんな時間が心を整える。家族で囲んで、一人で眺めて・・・
普段できない会話が生まれるかもしれません。」

地域に根ざした活動と、広がるつながり

「地元・東広島に根ざして活動したい」という谷さんの言葉のとおり、2025年6月には郷田小学校での「ほたるを見る会」で竹あかりのライトアップを実施しました。子どもたち約170人が螢を見に川のそばへ移動した隙を狙って、一気に準備。子どもたちが戻ってきたタイミングで小学校の照明をすべて消すと「キレイー！」と歓声が一斉に上がったそうです。竹あかりの灯りが幻想的な空間を生み出しました。このように地域の祭り、地域団体とのタイアップイベントも続いている。



展示・ワークショップ・リース

・・・多彩に展開

ゆるゆるファーム 竹あかりは現在、以下の3つの柱を中心に活動を展開しています。

◇展示

「竹あかりの夕べ」（西条中央公園）や、「明かりの散歩道」（酒蔵通り）などで大規模展示をしたり、地域の行事との連携も積極的にしています。

◇ ワークショップ

竹あかりを自分で制作できるワークショップは、個人・団体を問わず対応しています。10~15名程度でも体験することができます。柔軟に対応できますのでお問い合わせください。

◇リース（貸出）

イベントやコンサート、ランチ会、文化祭、冠婚葬祭などに竹あかりを貸し出します。大小合わせて10~12点ほどの作品がリース可能。設営・撤去まで一括で対応できます。

はじめて竹あかりを作ったときに感じた「飽きない楽しさ」を、もっと多くの人に味わってほしい。地域に根差した活動を続けながら、新しいつながりを育んでいます。今後の広がりが楽しみな、東広島の「癒し系」団体です。



団体プロフィール

- 団体名 ゆるゆるファーム 竹あかり
- 設立 2023年2月
- 活動人数 20名
- 活動拠点 東広島市内、西条中央公園、地域でのイベント
- 主な活動
 - *竹あかりの展示
 - *ワークショップ
 - *竹あかりのリース（貸出）

Instagram



YURU2FARM.TAKEAKARI.HITOEN